

# 6

## 地域別構想

地域別構想は、全体構想における将来都市構造、各種まちづくり方針を踏まえながら、地域独自の特性や地域住民の視点をもとに、地域の将来像やまちづくりの方針を示すものです。

地域の区分に当たっては、市民の身近な生活単位である小学校区を基本に、歴史的な経緯や地形条件等を考慮して、次図のように4つの地域に区分しました。

図 地域区分図

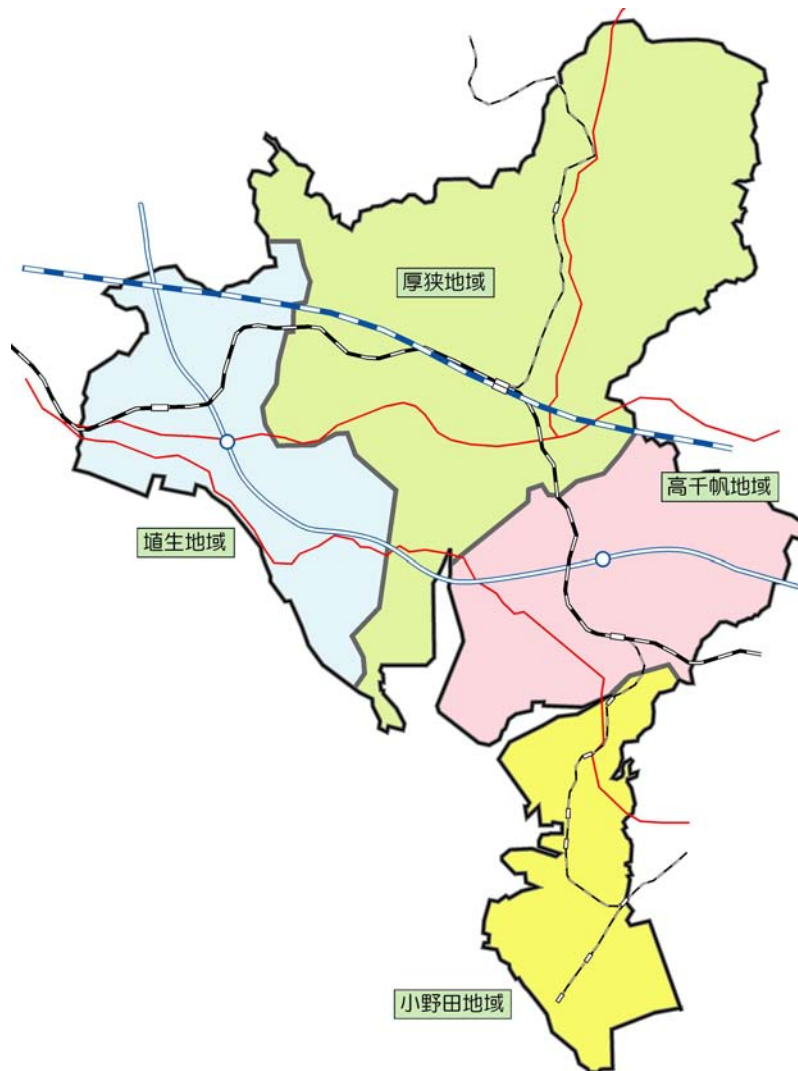


表 地域を構成する小学校区

地域	小学校区
小野田	本山、赤崎、須恵、小野田
高千帆	高泊、高千帆、有帆
厚狭	厚陽、出合、厚狭
埴生	埴生、津布田

# (1) 小野田地域

## 1) 地域の現況と課題

### 1 地域の現況

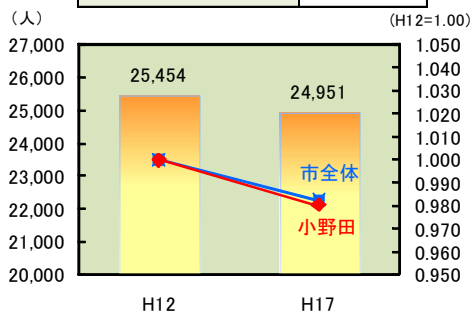
- ・小野田地域は、ほぼ全域が市街地となっており、市内で最も人口密度の高い地域となっています。また、非常に高齢化率が高くなっている地区も一部に見られます。
- ・他の地域と比べると農地や山林が少ないという特徴がありますが、その一方で、竜王山公園をはじめとする大規模な公園や、きららビーチ焼野などの水辺空間が充実しています。
- ・地域内には多くの文化・交流・体育施設が集積しており、おのだサンパークのような大規模商業施設や山口東京理科大学も立地しています。
- ・セメント・石炭産業に由来のある文化財が地域内の随所に残されています。
- ・臨海部には、本市の基幹産業である製造関連の大規模な工場や石油コンビナートが立地しています。
- ・宇部市方面と連絡する国道 190 号の交通混雑や、産業系大型車両が市街地内を通過することによる騒音や振動が問題となっており、これらを解消するため、現在、地域高規格道路山口宇部小野田連絡道路の整備が進められています。
- ・南北方向の道路は比較的整備が進んでいますが、東西方向の道路の整備が遅れています。また、生活道路に関しては、幅員の狭い道路や行き止まり道路が多く、歩行上や防災上で危険性のある地区も見られます。

図 小野田地域位置図



■ 小野田地域の人口

項目	小野田
H12人口	25,454
H17人口	24,951
H17/H12	0.980
65歳以上構成比	23.8%
市内構成比(H17)	37.7%



(資料：国勢調査)

■ 小野田地域の土地利用構成

区分	面積 (ha)	構成比 (%)
住宅用地	305	18.0%
商業用地	36	2.1%
工業用地	357	21.1%
公益施設用地	117	6.9%
公共空地	112	6.6%
交通施設用地	153	9.0%
その他の空地	238	14.0%
田	37	2.2%
畑 (樹園地を除く)	32	1.9%
畑 (樹園地)	4	0.2%
山林	226	13.4%
水面	41	2.4%
その他の自然地	36	2.1%
合計	1,693	100.0%

(資料：都市計画基礎調査)

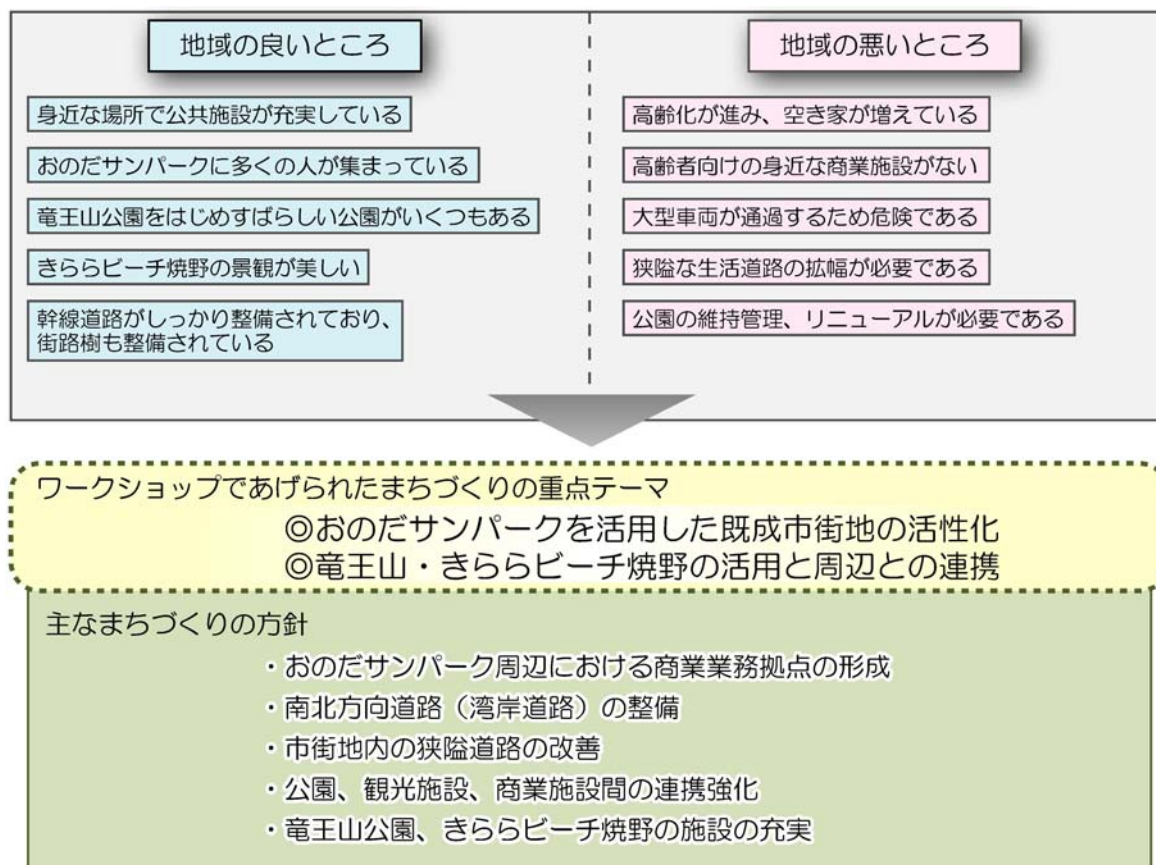
## 2 地域住民の意見

### ●市民アンケートより

市民アンケートでは、身近な山・川・海の減少を懸念する住民が多く、生活道路や身近な公園の整備を必要とする割合が高い、という特徴が見られました。

### ●ワークショップ意見より

地域別ワークショップでは、地域の良いところ・悪いところ、まちづくりのテーマが次のようにまとめられました。



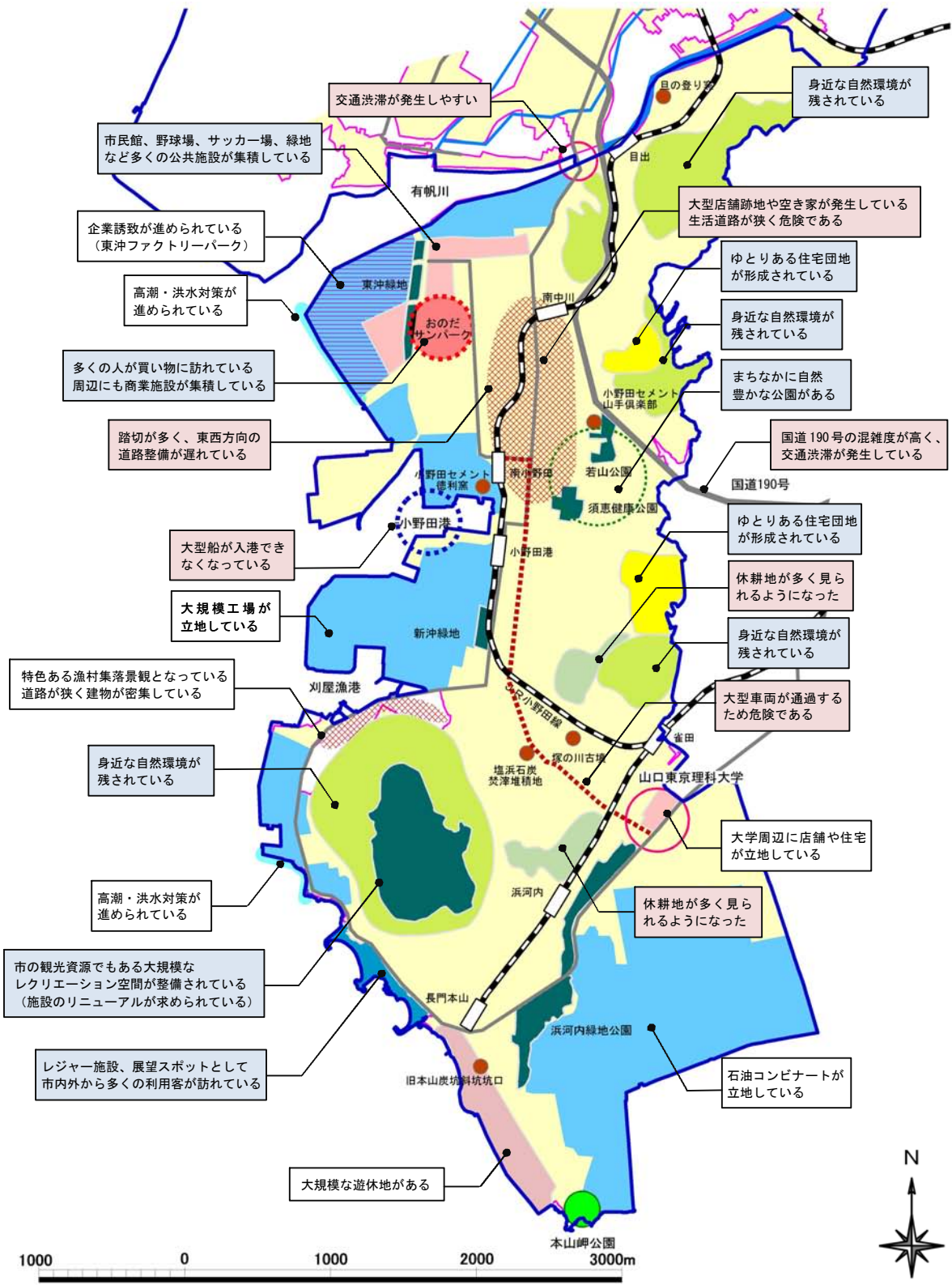
## 3 地域の特性と課題

小野田地域は、南北方向に長く市街地が形成されており、北側には公共施設や商業施設が集積する利便性の高い市街地、南側には竜王山公園やきららビーチ焼野などの交流・レクリエーション拠点が形成されています。また、西側の臨海部の工場地帯から密集した市街地、東側の丘陵地の住宅団地へとなだらかに変化する都市構造になっています。

地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎大規模商業施設、公共施設が持つ集客力の活用
- ◎交流・レクリエーション拠点の整備充実と拠点間連携の強化
- ◎既成市街地内における生活道路の改善や計画的な住宅の建替えの促進
- ◎JR小野田線によって分断されている東西方向の連携強化
- ◎自動車の交通処理機能の強化と安全・快適な歩行者空間の確保

図 小野田地域の現況・課題図



【 凡 例 】

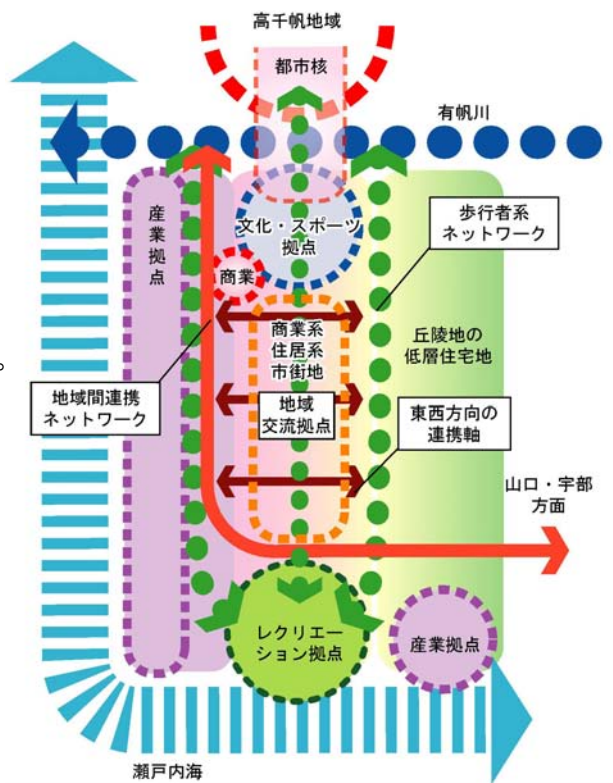
	地域区分境界		高速道路		地域の「良いところ」
	用途地域		国道		地域の「悪いところ」
	鉄道(新幹線)		県道		その他の現況・課題
	鉄道				

## 2) 地域のまちづくりの方針

小野田地域では、北側に文化施設、スポーツ施設、商業施設が集積する拠点、南側にレクリエーション拠点を配置し、南北の拠点間に挟まれる中心部分において利便性の高い市街地の創出を目指します。さらに、この利便性の高い市街地東側の丘陵地にゆとりある低層住宅地を配置し、臨海部の産業拠点から丘陵地へと土地利用が変化していく都市構造を基本とします。

南北の拠点間の連携強化と東西方向の連携強化を図るため、はしご状のネットワークの形成を図ります。このうち、南北方向のネットワークについては、海側に商業・工業系を主体としたにぎわいのあるネットワーク、丘陵地側に緑や歴史を回遊する魅力あふれるネットワークを配置し、地域全体として回遊性のある空間形成を目指します。また、東西方向のネットワークについては、未整備の道路整備を進めるとともに、住居系市街地から公共施設や大規模商業施設へのアクセス性の向上を目指します。

図 小野田地域の将来都市構造図



### 【地域の将来像】

**活力ある産業と美しい眺望を活かしたにぎわいを育むまち**

#### 【地域のまちづくり方針】

##### ■ 拠点の充実と拠点間をつなぐネットワークの充実

商業集積拠点、文化交流拠点、スポーツ拠点、レクリエーション拠点において、それぞれの特성에 応じた機能充実や施設改善を図るとともに、安全で快適に通行できる道路空間の整備やJR小野田線の活用によって、拠点間をつなぐネットワークの充実を図ります。

##### ■ 利便性の高い市街地と緑豊かな市街地の形成

公園通り一帯では、計画的な市街地更新を進め、商業施設や公共施設の集積を活かして利便性の高い生活空間の形成を図ります。

地域東側の丘陵地一帯では、残された丘陵地や農地の緑の保全に配慮しながら、低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持に努めます。

##### ■ 住環境と調和する産業基盤の整備充実

地域内を通過する産業系の大型貨物車両の交通を円滑に処理するため、地域高規格道路山口宇部小野田連絡道路の整備を促進します。また、重要港湾小野田港の港湾施設の整備拡充を図るとともに、臨海工業地における産業機能の維持と企業誘致に努めます。

## 1 土地利用に関する方針

栄町から公園通り周辺、おのだサンパーク周辺については、市民及び地域住民の購買需要に対応できる商業機能の維持・充実を図ります。

商業集積地周辺の一般住宅地においては、生活道路などの都市基盤整備を進め、快適で利便性の高い住宅地の形成を図ります。また、木戸・刈屋地区の密集した市街地に関しては、防災上の安全性に配慮したまちづくりに努めます。また、丘陵地の専用住宅地については、低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持を図ります。

臨海部については、道路、港湾等の産業基盤の充実、既存産業の高度化や産学公の連携等を通じて、活力ある産業機能の維持に努めます。特に、東沖ファクトリーパークにおいて、瀬戸内海に面し、小野田港に近接している強みを活かした企業の誘致を進めます。

地域内に残された農地、丘陵地については、市街地に近接する貴重な緑地として保全・活用を図ります。

## 2 交通体系に関する方針

JR小野田線については、より利用しやすく、市街地の一体性を強化できるような環境整備について検討します。また、おのだサンパーク、市民館、竜王山公園、きららビーチ焼野などの主要施設を連絡する道路を中心に、自転車・歩行者空間の整備を図ります。

山口宇部小野田連絡道路については、地域間の連携強化、国道190号等の慢性的な渋滞解消、山口・宇部・小野田地区の連絡強化等を図るため整備を促進します。また、南北方向及び東西方向の連携強化、交通渋滞緩和や歩行者の危険性解消を図るため、必要に応じて道路拡幅、歩道設置、交差点改良等によって、安全で円滑な交通環境の整備に努めます。

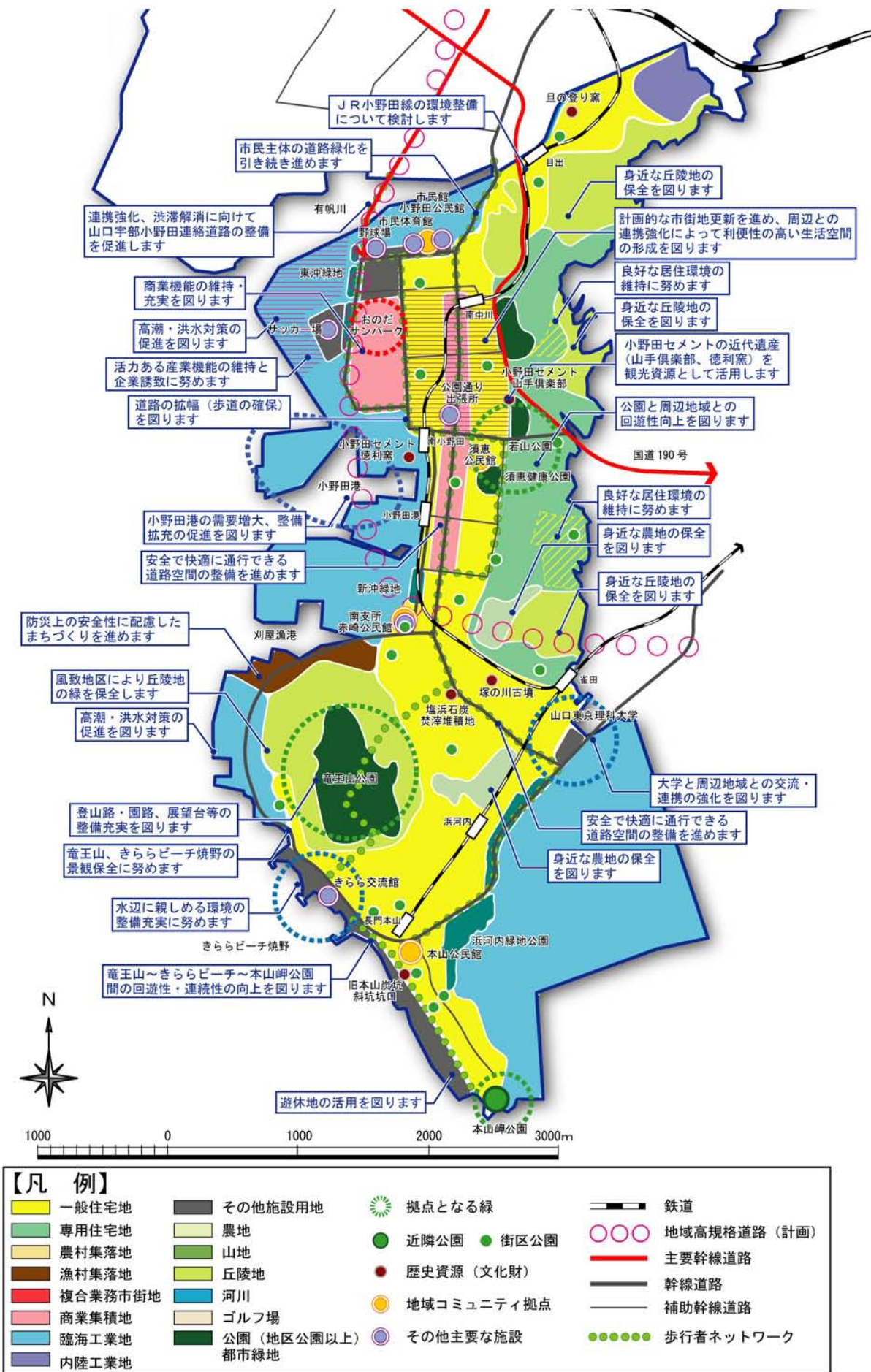
その他、重要港湾小野田港については、需要増大を図るとともに、港湾施設の整備拡充を促進します。

## 3 都市環境に関する方針

回遊性の高い市街地を形成するため、サッカー場・東沖緑地から、若山公園・須恵健康公園を経て、竜王山公園にいたる緑のネットワークの形成を図ります。また、焼野海岸から本山岬公園までの海岸の連続性を活かした水辺のネットワークの形成を図り、きららビーチ焼野から周辺の公園や交流施設までの回遊性の向上を図ります。また、街なかを歩く人々が憩える空間を確保するため、道路沿いの未利用地や歩道の一部を活かしたポケットパークや広場の設置を進めます。

竜王山公園では、登山道や園路の整備充実を図り、より多くの人々に利用される公園づくりを進めます。また、若山公園、須恵健康公園では、桜をはじめとする植樹の管理、運動施設の整備充実を努めます。その他、既存の公園・緑地についても、より多くの人々に利用されるよう、利用者のニーズに対応した利用方法や施設の整備充実を努めます。

図 小野田地域のまちづくり方針図



## (2) 高千帆地域

### 1) 地域の現況と課題

#### 1 地域の現況

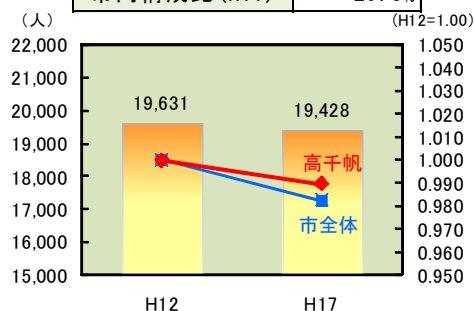
- ・高千帆地域では、JR小野田駅周辺や有帆川沿いの平坦地に市街地が形成され、農地・丘陵地がその周辺を囲むように広がっています。
- ・丘陵地では、良好な住宅団地や大規模な工業団地の造成が行われ、現在、高速道路インターチェンジ（IC）に近接する強みを活かした企業誘致が進められています。
- ・他の地域と比べると人口減少の速度は緩やかであり、若い世代も多い地域となっています。駅前では高層マンションの建設も行われています。
- ・農地と市街地が混在するような形で用途地域が指定されており、用途地域縁辺部でミニ開発が進む一方で、用途地域内に低未利用地が多く残されていることが問題となっています。
- ・JR小野田駅周辺には、市役所などの行政施設のほか、金融・医療施設も多く集積しています。大規模な商業施設は国道190号沿道やIC周辺に立地していますが、これら商業施設は駅前や市街地からも近いという特徴があります。
- ・地域北側の江汐公園は、市内外から多くの人々が訪れる場所となっています。
- ・海岸沿いや河口部近くには、高潮や洪水で浸水する危険性が高い地区があり、現在、護岸整備による対策が進められています。

図 高千帆地域位置図



■ 高千帆地域の人口

項目	高千帆
H12人口	19,631
H17人口	19,428
H17/H12	0.990
65歳以上構成比	23.0%
市内構成比(H17)	29.3%



(資料：国勢調査)

■ 高千帆地域の土地利用構成

区分	面積 (ha)	構成比 (%)
住宅用地	295	11.3%
商業用地	35	1.4%
工業用地	78	3.0%
公益施設用地	52	2.0%
公共空地	67	2.6%
交通施設用地	225	8.6%
その他の空地	201	7.7%
田	372	14.3%
畑(樹園地を除く)	45	1.7%
畑(樹園地)	12	0.5%
山林	1,048	40.1%
水面	116	4.4%
その他の自然地	66	2.5%
合計	2,614	100.0%

(資料：都市計画基礎調査)



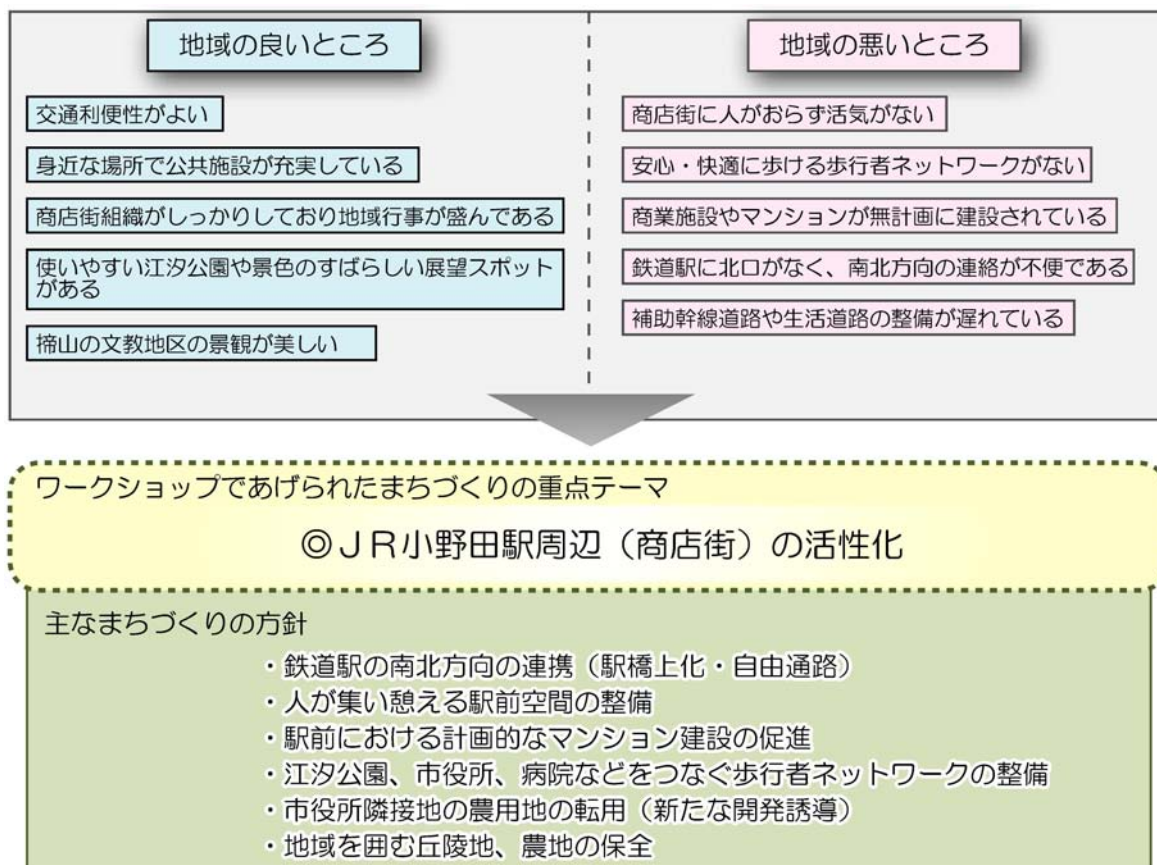
## 2 地域住民の意見

### ●市民アンケートより

市民アンケートでは、マンション建設による居住環境の悪化や身近な里山の減少を懸念する住民が多く、生活道路や下水道の整備を必要とする割合が高い、という特徴が見られました。

### ●ワークショップ意見より

地域別ワークショップでは、地域の良いところ・悪いところ、まちづくりのテーマが次のようにまとめられました。



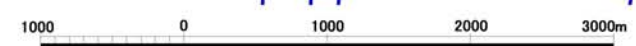
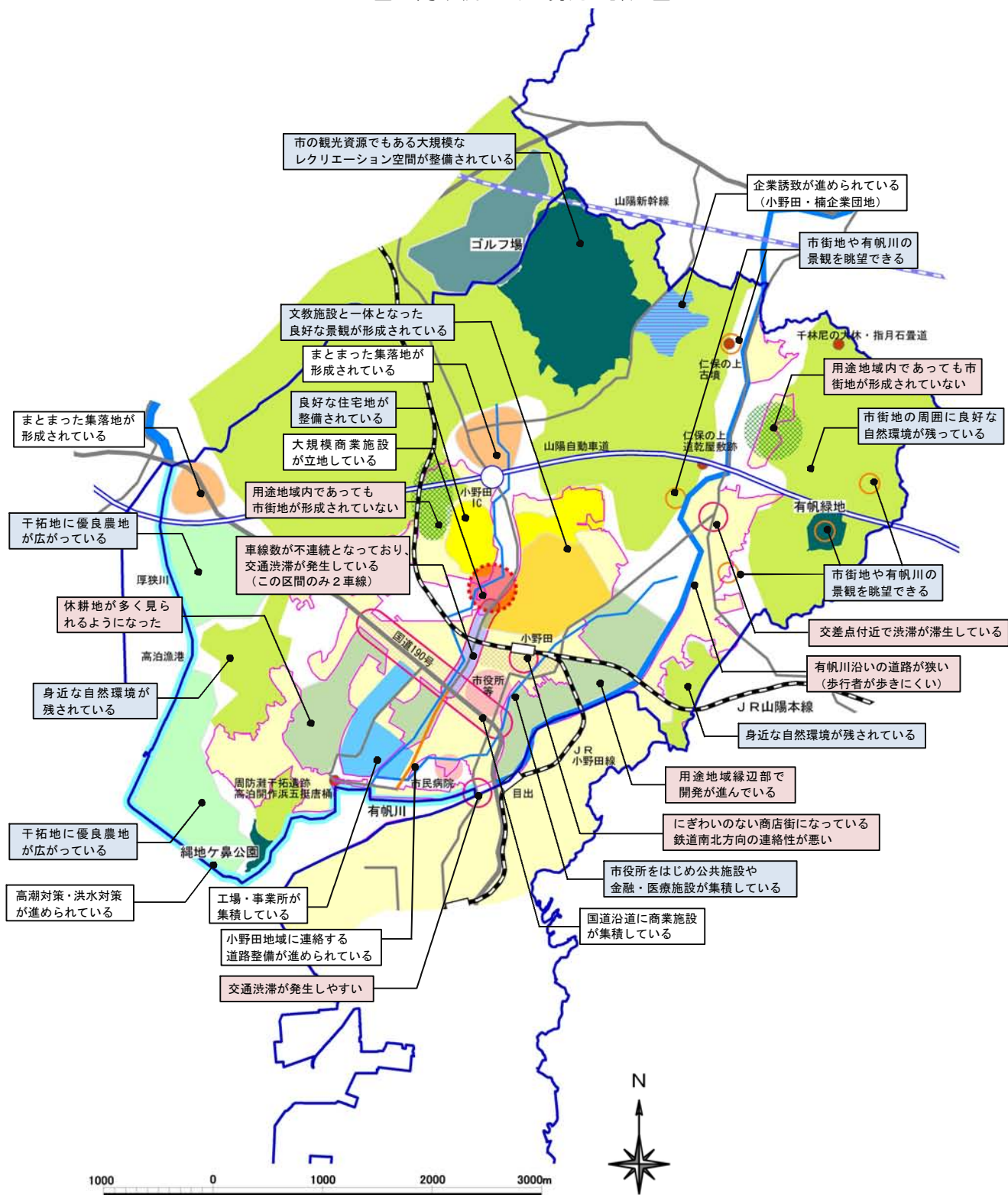
## 3 地域の特性と課題

高千帆地域は、JR小野田駅を中心に市街地が形成されていますが、鉄道利用客の減少や商店街の低迷により、駅周辺の拠点性が低下しています。また、用途地域縁辺部や幹線道路沿道で開発が行われ、低密度な市街地が拡大しつつあります。









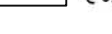

地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎ JR小野田駅周辺における低未利用地の活用と高度利用の促進
- ◎ 大規模商業施設、公共施設が持つ集客力の活用
- ◎ 優良農地や丘陵地の保全と無秩序な市街地拡大の抑制
- ◎ JR小野田駅を玄関口とした、歩いて楽しい空間づくりの推進

図 高千帆地域の現況・課題図



【 凡 例 】

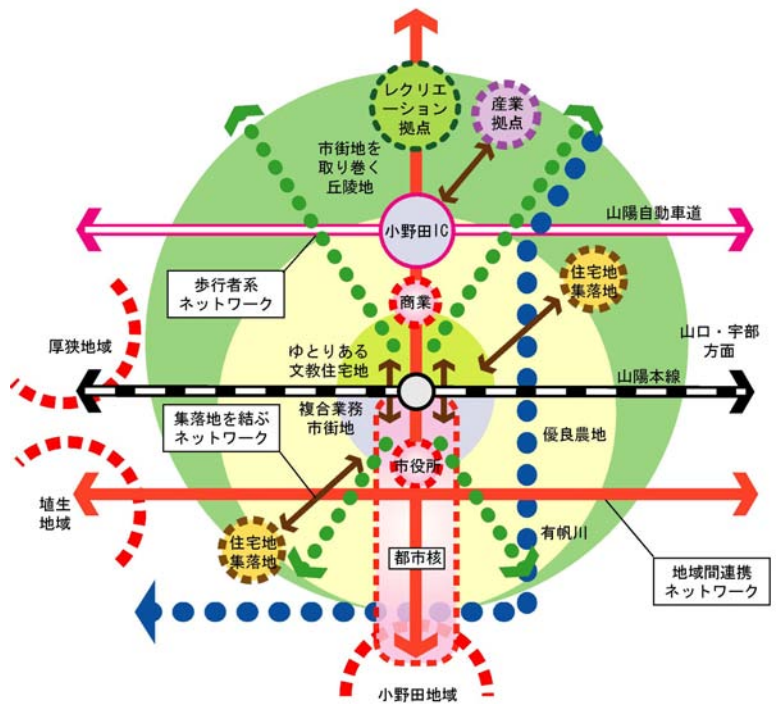
	地域区分境界		高速道路		地域の「良いところ」
	用途地域		国道		地域の「悪いところ」
	鉄道(新幹線)		県道		その他の現況・課題
	鉄道				

## 2) 地域のまちづくりの方針

高千帆地域では、JR小野田駅周辺を中心に歩いて暮らせるまちづくりを進め、にぎわいのある快適な市街地の創出を目指します。

JR小野田駅南側には、市役所を中心として土地の有効活用・高密度化を促進する複合業務市街地、北側にはゆとりある文教住宅地を配置し、南北間の連携強化を図ります。また、JR小野田駅周辺を中心として農地と山林が取り囲む同心円状の都市構造を基本とし、郊外部に分布する住宅地や集落地、産業拠点、レクリエーション拠点、さらに、周辺地域へと放射状に連携するネットワークを形成します。

図 高千帆地域の将来都市構造図



### 【地域の将来像】

**快適で便利なまちなかを多くの人々が行き交うまち**

#### 【地域のまちづくり方針】

##### ■小野田駅周辺における都市核にふさわしい集積促進

JR小野田駅の交通結節点機能の強化、駅前商店街の活性化、そして駅周辺地区における土地の有効活用・高密度化の促進により、本市の都市核にふさわしい機能集積を図ります。また、各種イベントの開催やポケットパーク・広場の設置等により、多くの人々が行き交う駅前空間づくりを目指します。

##### ■小野田駅を起点とするネットワークの充実

JR小野田駅を起点として、周辺地域や周辺都市に連絡する道路や公共交通の充実を図ります。また、歩いて楽しいまちづくりを目指して、JR小野田駅から、市役所、市民病院などの公共施設や江汐公園などの公園を回遊する歩行者ネットワークの整備を図ります。

##### ■良好な住環境、自然環境の保全

JR小野田駅北側の住宅団地については、周辺の文教施設と一体となったゆとりある居住環境の保全を図ります。また、地域を流れる有帆川や、市街地周辺の農地、丘陵地については、自然環境の保全を図るとともに、市民の憩いや交流の場として活用を図ります。

## 1 土地利用に関する方針

JR小野田駅周辺では、行政・業務施設や鉄道駅に近接する利便性を活かして、商業業務施設の集積促進や計画的な中高層マンション等の建設促進を図ります。また、小野田駅前土地区画整理事業については、事業手法の再検討も含めて早期完了に努めます。国道190号沿道やIC周辺の大型商業施設が立地する地区については、市民及び地域住民の購買需要に対応できる商業機能の維持・充実を図り、郊外部に向かってスプロール状に商業施設が拡散することのないよう、立地を規制する手法の導入も検討します。

駅北側の丘陵地の専用住宅地については、低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持に努めます。その他の一般住宅地においては、生活道路や下水道等の都市基盤整備を進め、快適で利便性の高い住宅地の形成を図ります。丘陵地内に造成された大規模な工場、工業団地については、周辺の自然環境や居住環境と調和する工業地形成を図ります。このうち、小野田・楠企業団地では、山陽自動車道に近接している強みを活かした企業の誘致に努めます。

市街地の周辺に広がる農地については、新たな市街化を抑制するとともに、農地がもつ生産、環境保全、防災などの多面的機能の保全を図ります。また、市街地の背後に広がる山地・丘陵地については、良好な自然環境を保全するとともに、自然散策の場等として保全・活用を図ります。

## 2 交通体系に関する方針

JR小野田駅における交通結節点機能の強化、バリアフリー化及び南北通路の整備を進め、分かりやすく、安全に公共交通機関が利用できるよう改善を図ります。また、誰もが楽しく歩いて暮らせるまちづくりを目指し、駅から市役所や市民病院などに連絡する道路や、公園、丘陵地、河川をつなぐネットワークにおいて、歩道の設置や自転車・歩行者空間の整備を図ります。

山口宇部小野田連絡道路については、地域間の連携強化、国道190号等の慢性的な渋滞解消、山口・宇部・小野田地区の連絡強化等を図るため整備を促進します。また、適正な市街地形成を図るため、市街地の骨格となる道路の整備促進を図ります。一方、将来も市街化の見込みが低い郊外部に配置された路線については、今後、住民との合意形成、関係機関との調整を図りつつ、計画の見直しも検討します。

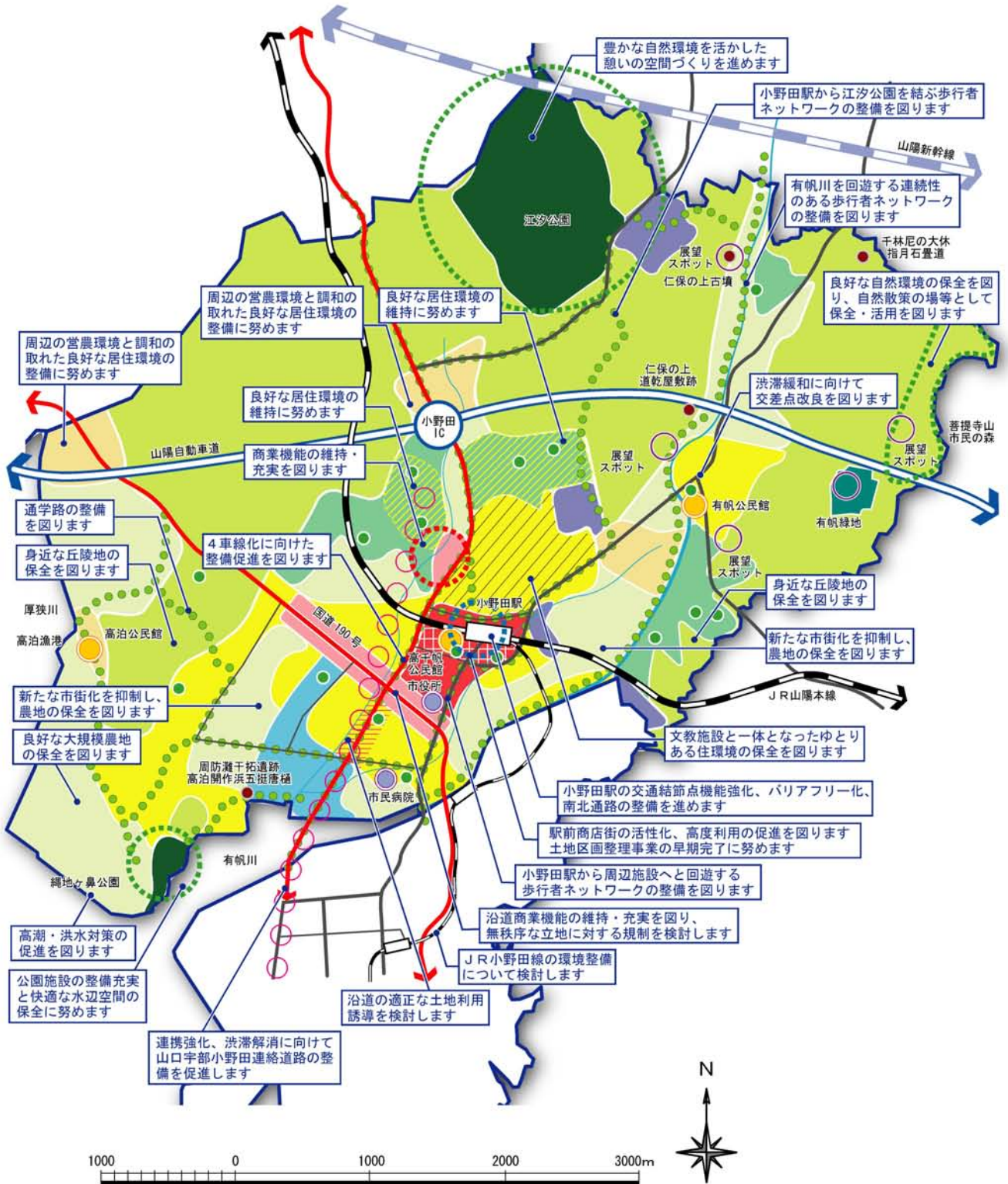
## 3 都市環境に関する方針

市街地から公園までの回遊性を活かした緑のネットワーク、そして、有帆川における水辺のネットワークの形成を図り、分散する市街地を緑や水辺がつなぐ都市構造を創出します。また、街なかを歩く人々が憩える空間を確保するため、道路沿いの未利用地や歩道の一部を活かしたポケットパークや広場の設置を進めます。

江汐公園では、子供からお年寄りまでが安心・快適に過ごせるような施設整備に努め、豊かな自然を活かした憩いの場として利用される公園づくりを進めます。縄地ヶ鼻公園では、芝生広場や休養施設の充実や快適な水辺空間を保全し、散策や野外レクリエーションなどを楽しめる公園づくりを進めます。また、有帆緑地では、緑のリサイクルの場や環境学習の場を整備し、市民の憩いの場である「菩提寺山市民の森」と一体となった魅力ある緑地の創造を図ります。その他、身近な公園が不足している地区では、新たな公園の整備を図るとともに、既存の公園についても、より多くの人々に利用されるよう、利用者のニーズに対応した利用方法や施設の整備充実に努めます。

有帆川については、防災面、環境面で必要となる対策も考慮しながら、親水空間の整備や憩いの場の整備等を図るとともに、連続性のある河川景観の形成を目指します。

図 高千帆地域のまちづくり方針図



【凡 例】			
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span> 一般住宅地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:grey; border:1px solid black;"></span> その他施設用地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px dashed green; border-radius:50%;"></span> 拠点となる緑	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid blue; border-top:2px solid blue;"></span> 鉄道（新幹線）
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border:1px solid black;"></span> 専用住宅地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightyellow; border:1px solid black;"></span> 農地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border-radius:50%;"></span> 近隣公園	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid black; border-top:2px solid black;"></span> 鉄道
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightyellow; border:1px solid black;"></span> 農村集落地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border:1px solid black;"></span> 山地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border-radius:50%;"></span> 街区公園	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid blue; border-top:2px solid blue;"></span> 高速自動車道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span> 漁村集落地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightyellow; border:1px solid black;"></span> 丘陵地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border-radius:50%;"></span> 歴史資源（文化財）	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid red; border-top:2px solid red;"></span> 地域高規格道路（計画）
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 複合業務市街地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 河川	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border-radius:50%;"></span> 地域コミュニティ拠点	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid black; border-top:2px solid black;"></span> 主要幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 商業集積地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> ゴルフ場	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border-radius:50%;"></span> その他主要な施設	<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid grey; border-top:2px solid grey;"></span> 幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 臨海工業地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 公園（地区公園以上）		<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid grey; border-top:2px solid grey;"></span> 補助幹線道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 内陸工業地	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> 都市緑地		<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px dashed green; border-top:2px dashed green;"></span> 歩行者ネットワーク

### (3) 厚狭地域

#### 1) 地域の現況と課題

##### 1 地域の現況

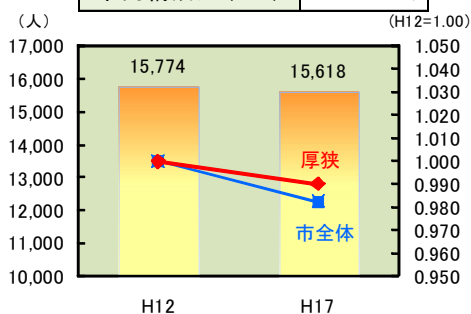
- ・厚狭地域は、古代から人が住み着いた地域であり、古墳などの文化財や寝太郎関連の歴史資源のほか、厚狭毛利家ゆかりの史跡や旧山陽道宿場町（半宿）の街並みなどが数多く残されています。
- ・主な市街地は、JR厚狭駅周辺の盆地部と厚狭川河口部にまとまって形成されており、農地・丘陵地がその周辺を囲むように広がっています。丘陵地にはいくつものゴルフ場があるほか、工業団地が造成され、多くの企業が立地しています。
- ・他の地域と比べると人口減少の速度は緩やかであり、駅前では高層マンションの建設も行われています。
- ・JR厚狭駅周辺には、行政施設のほか、文化・金融施設も多く集積していますが、施設の老朽化等も指摘されています。
- ・用途地域はJR厚狭駅周辺に指定されており、厚陽地区などの集落は用途地域の指定が行われていません。
- ・JR厚狭駅南側では、土地区画整理事業により新市街地形成が進められており、今後の高度利用が期待されています。JR厚狭駅北側では、部分的な宅地開発により市街地が拡大していますが、用途地域内であっても、宅地化が進んでおらず、都市基盤施設の整備も進んでいない地区が見られます。

図 厚狭地域位置図



■ 厚狭地域の人口

項目	厚狭
H12人口	15,774
H17人口	15,618
H17/H12	0.990
65歳以上構成比	25.1%
市内構成比(H17)	23.6%



(資料：国勢調査)

■ 厚狭地域の土地利用構成

区分	面積 (ha)	構成比 (%)
住宅用地	296	4.5%
商業用地	13	0.2%
工業用地	130	2.0%
公益施設用地	72	1.1%
公共空地	36	0.6%
交通施設用地	308	4.7%
その他の空地	599	9.2%
田	666	10.2%
畑 (樹園地を除く)	71	1.1%
畑 (樹園地)	30	0.5%
山林	4,043	61.9%
水面	148	2.3%
その他の自然地	115	1.8%
合計	6,529	100.0%

(資料：都市計画基礎調査)

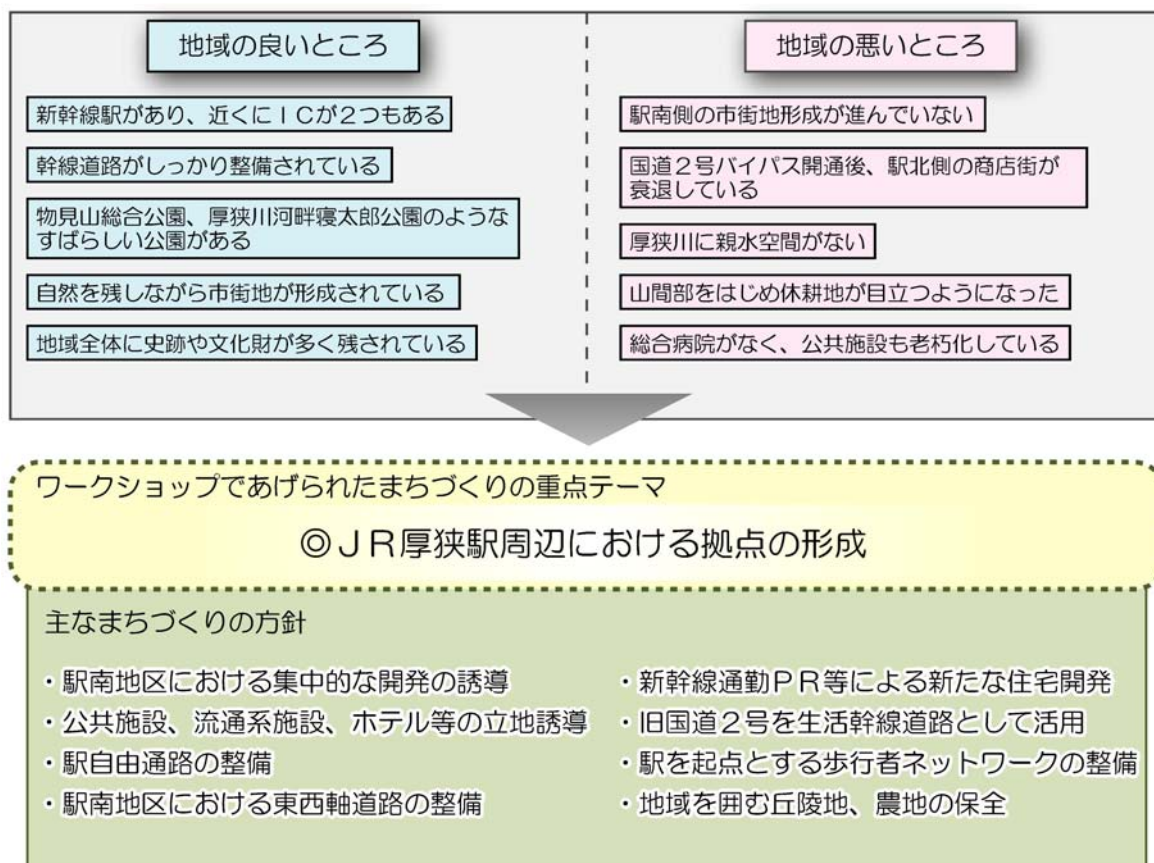
## 2 地域住民の意見

### ●市民アンケートより

市民アンケートでは、空き家の増加や農地の減少を懸念する住民が多く、医療福祉施設を必要とする割合が高い、という特徴が見られました。

### ●ワークショップ意見より

地域別ワークショップでは、地域の良いところ・悪いところ、まちづくりのテーマが次のようにまとめられました。

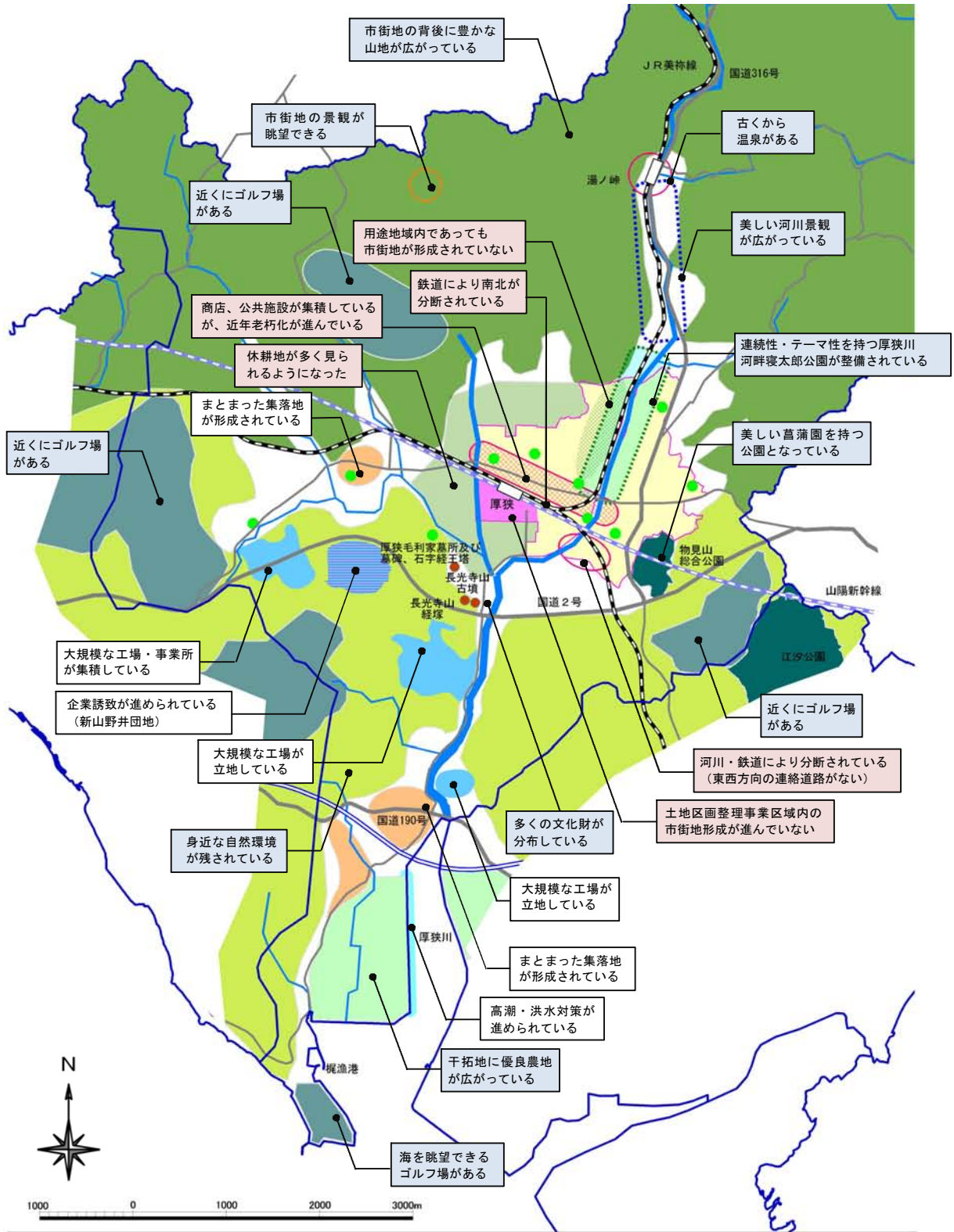


## 3 地域の特性と課題

厚狭地域は、多くの歴史資源を持つ地域であり、JR厚狭駅を中心とするコンパクトな市街地や自然豊かな集落地の周囲を美しい田園風景が囲んでいます。なお、JR厚狭駅周辺では、市街地が南北に分断されており、駅北側の商店街の低迷と駅南側の新市街地形成の遅れが問題となっています。地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎ JR厚狭駅南北方向の連携強化
- ◎ JR厚狭駅南部地区における新市街地形成の促進
- ◎ 地域を囲む優良農地や丘陵地の保全
- ◎ 歴史資源と調和するまちづくりの推進

図 厚狭地域の現況・課題図



【 凡 例 】			
	地域区分境界		地域の「良いところ」
	用途地域		地域の「悪いところ」
	鉄道(新幹線)		その他の現況・課題
	鉄道		
	高速道路		
	国道		
	県道		

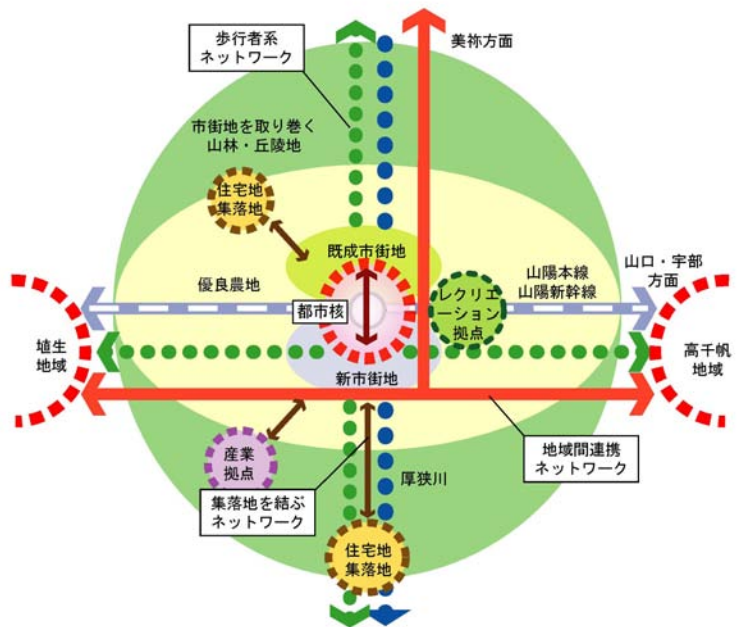


## 2) 地域のまちづくりの方針

厚狭地域では、多くの歴史資源や美しい田園風景を活かして、テーマ性・回遊性を持った市街地の創出を目指すとともに、新幹線駅を活かした新しい市街地の創出を目指します。また、JR厚狭駅周辺を中心として農地と山林が取り囲む同心円状の都市構造を基本とし、郊外部に分布する住宅地や集落地、産業拠点、レクリエーション拠点、さらに、周辺地域へと放射状に連携するネットワークを形成します。

JR厚狭駅周辺においては、南北それぞれの特性に合ったまちづくりを進めるとともに、南北方向の一体性強化を図ることで、本市の都市核にふさわしい都市機能集積を進めます。

図 厚狭地域の将来都市構造図



### 【地域の将来像】

**豊かな自然と長い歴史に抱かれた個性と魅力があふれるまち**

### 【地域のまちづくり方針】

#### ■厚狭駅周辺における都市核にふさわしい集積促進

JR厚狭駅南側における新市街地形成の促進と、北側の既成市街地との一体性強化により、本市の都市核にふさわしい機能集積を図ります。駅南側については、街区の再編も視野に入れながら、新幹線駅という強みを活かした住宅開発や施設立地誘導を図ります。

#### ■歴史資源の保全活用と資源を巡る回遊性の向上

古墳時代から近世までの歴史の中で育み残されてきた史跡や建築物の保全を図るとともに、これら歴史資源を回遊できるネットワークの形成を図ります。また、歴史資源周辺においては、それぞれが持つ歴史や個性にふさわしい空間整備を図ります。

#### ■良好な田園環境の保全

JR厚狭駅周辺におけるコンパクトな市街地を維持し、周辺の農地、丘陵地の保全を図ります。また、点在する集落地においては、田園環境と調和するゆとりある居住環境の保全を図ります。

## 1 土地利用に関する方針

JR厚狭駅周辺では、行政・業務施設や鉄道駅に近接する利便性を活かして、商業業務施設の集積促進や計画的な中高層マンション等の建設促進を図ります。特に、都市基盤施設が整備された駅南側の地区については、快適な都市型住宅や商業業務施設の建設を誘導し、計画的に複合型の土地利用形成を進めます。

JR厚狭駅周辺の一般住宅地においては、生活道路や下水道等の都市基盤整備を進め、快適で利便性の高い住宅地の形成を図ります。また、駅北側の専用住宅地については、低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持に努め、用途地域の指定のない区域の農村集落地については、周辺の営農環境と調和の取れた良好な居住環境の整備に努めます。

丘陵地内に造成された大規模な工場、工業団地については、周辺の自然環境や居住環境と調和する産業空間の形成を図ります。このうち、新山野井団地では、山陽自動車道、山陽新幹線、国道2号厚狭・殖生バイパスに近接している強みを活かした企業の誘致に努めます。

市街地の周辺に広がる農地については、新たな市街化を抑制するとともに、農地がもつ生産、環境保全、防災などの多面的機能の保全を図ります。また、市街地の背後に広がる山地・丘陵地については、良好な自然環境を保全するとともに、自然散策の場等として保全・活用を図ります。

厚狭駅南の将来イメージ



## 2 交通体系に関する方針

JR厚狭駅における交通結節点機能の強化、南北方向の連絡機能の改善を進め、便利で安全に公共交通機関が利用できる環境改善を図ります。また、市街地内の主要経路における歩道の設置、公園・緑地、歴史資源を回遊する自転車・歩行者空間の整備を図ります。

適正な市街地形成を図るため、市街地の骨格となる道路の整備促進を図りますが、将来も市街化の見込みが低い郊外部に配置された路線については、今後、住民との合意形成、関係機関との調整を図りつつ、計画の見直しも検討します。

### 3 都市環境に関する方針

市街地から公園までの回遊性を活かした緑のネットワーク、そして、厚狭川における水辺のネットワークの形成を図り、分散する市街地や集落地を緑や水辺がつなぐ都市構造を創出します。また、旧山陽道の街並みや厚狭毛利ゆかりの史跡などの地域固有の歴史資源を活用し、テーマ性やストーリー性を持たせた回遊ネットワークの整備充実を図ります。

物見山総合公園では、キャンプ場施設や散策路の整備充実に努めるとともに、市街地から公園までの回遊性を高め、より多くの人々に利用される公園づくりを進めます。また、既存の公園についても、より多くの人々に利用されるよう、利用者のニーズに対応した利用方法や施設の整備充実に努めます。

厚狭川については、防災面、環境面で必要となる対策も考慮しながら、親水空間の整備や憩いの場の整備等を図るとともに、連続性のある河川景観の形成を目指します。



## (4) 殖生地域

### 1) 地域の現況と課題

#### 1 地域の現況

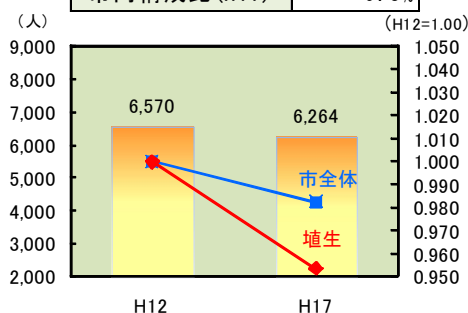
- ・殖生地域では、市の平均以上に人口減少が進んでおり、高齢化率も非常に高くなっています。
- ・主な市街地は殖生漁港周辺と海岸沿いに形成され、その背後に山地が広がっています。このうち、漁港周辺の市街地は、道路が狭く、建物が密集した状態となっています。
- ・以前は国道2号における慢性的な交通混雑が問題となっていました。厚狭・殖生バイパスの開通により大幅に改善されました。
- ・地域内に商業施設や医療・福祉施設などの生活関連施設が少ないことが問題となっていますが、その一方で、観光農園、飲食施設などの観光資源は数多く分布しています。

図 殖生地域位置図



■ 殖生地域の人口

項目	殖生
H12人口	6,570
H17人口	6,264
H17/H12	0.953
65歳以上構成比	27.4%
市内構成比(H17)	9.5%



(資料：国勢調査)

■ 殖生地域の土地利用構成

区分	面積 (ha)	構成比 (%)
住宅用地	122	5.0%
商業用地	6	0.3%
工業用地	14	0.6%
公益施設用地	46	1.9%
公共空地	6	0.2%
交通施設用地	167	6.8%
その他の空地	367	14.9%
田	197	8.0%
畑 (樹園地を除く)	72	2.9%
畑 (樹園地)	12	0.5%
山林	1,310	53.2%
水面	45	1.8%
その他の自然地	99	4.0%
合計	2,463	100.0%

(資料：都市計画基礎調査)

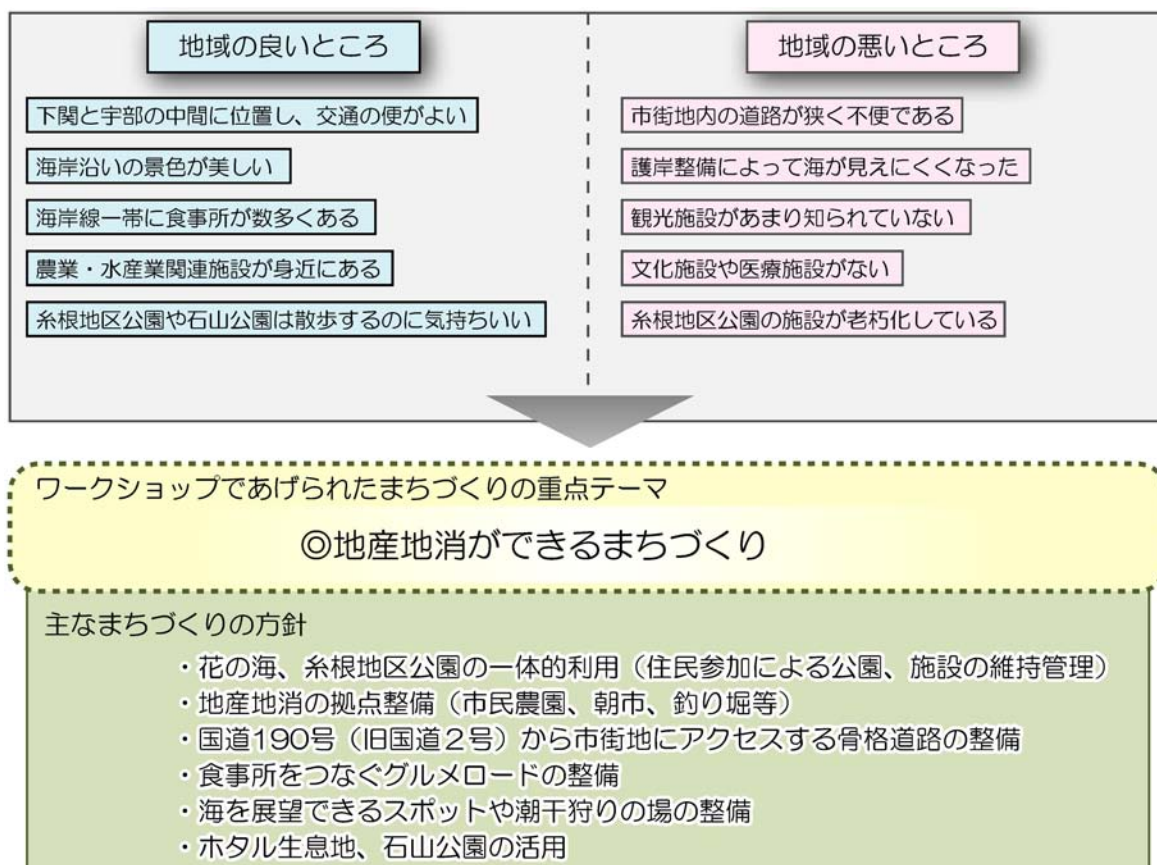
## 2 地域住民の意見

### ●市民アンケートより

市民アンケートでは、自然の減少を懸念する住民が多く、下水道の整備を必要とする割合が高い、という特徴が見られました。

### ●ワークショップ意見より

地域別ワークショップでは、地域の良いところ・悪いところ、まちづくりのテーマが次のようにまとめられました。



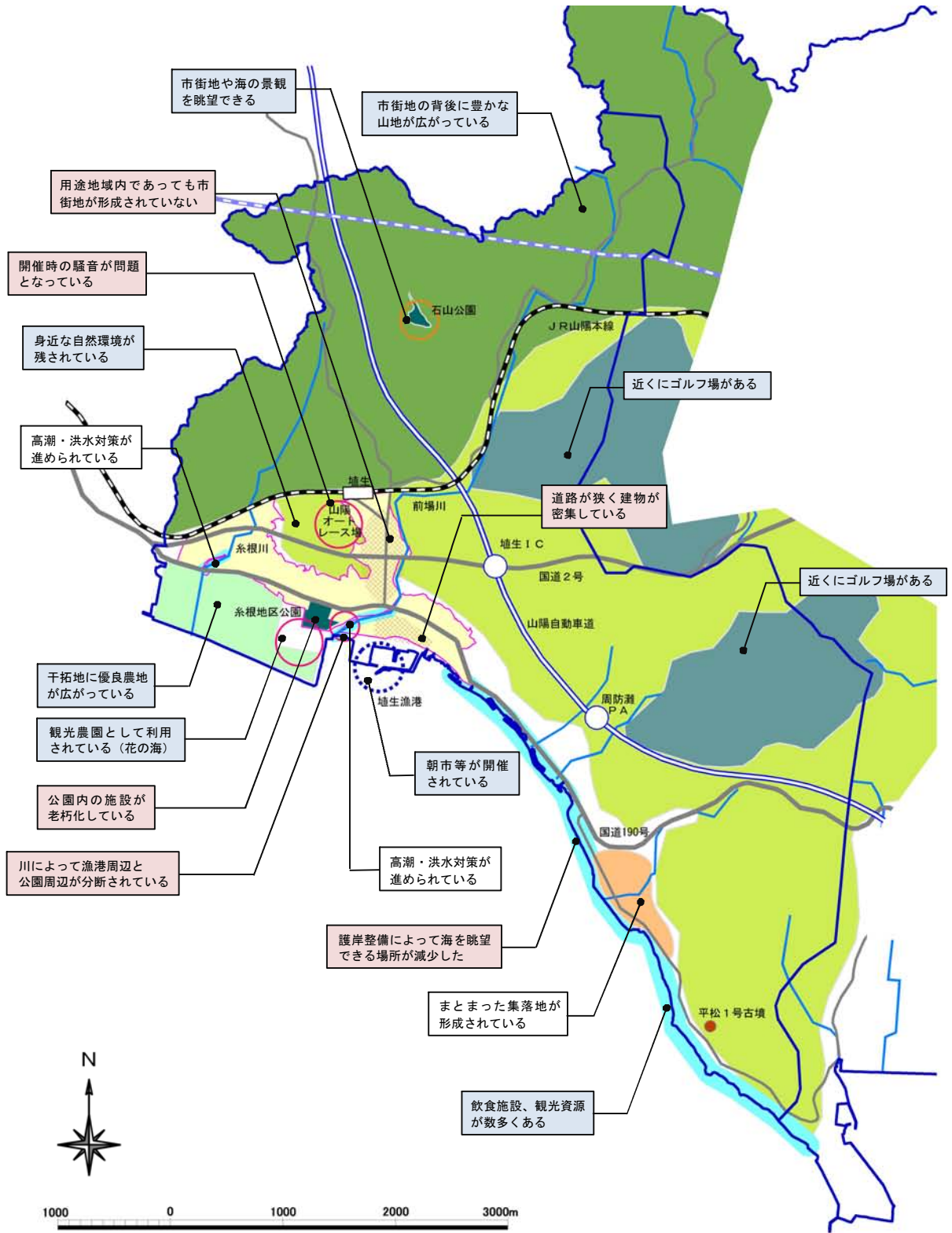
## 3 地域の特性と課題

殖生地域は、海岸に面して市街地や集落地が分布し、その背後に丘陵地が広がる都市構造となっています。海岸沿いの飲食施設や観光施設には多くの人々が訪れていますが、拠点としてのまとまりや回遊性の面での充実が必要とされています。

地域の主なまちづくりの課題には次のようなものがあります。

- ◎地域内の観光資源のネットワーク化と観光拠点としての整備
- ◎密集した市街地内における道路の整備
- ◎海岸、山林、優良農地の保全
- ◎第1次産業と連携したまちづくりの推進

図 殖生地域の現況・課題図



【 凡 例 】			
	地域区分境界		地域の「良いところ」
	用途地域		地域の「悪いところ」
	鉄道(新幹線)		その他の現況・課題
	鉄道		
	高速道路		
	国道		
	県道		





## 1 土地利用に関する方針

埴生漁港周辺の密集した市街地については、道路空間確保や不燃化促進等により、防災上の安全性に配慮したまちづくりを進めます。国道 190 号（旧国道 2 号）北側の一般市街地においては、生活道路等の都市基盤整備を進め、快適で利便性の高い住宅地の形成を図ります。また、用途地域の指定のない区域の農村集落地については、周辺の営農環境と調和の取れた良好な居住環境の整備に努めます。

市街地の周辺に広がる農地については、新たな市街化を抑制するとともに、農地がもつ生産、環境保全、防災などの多面的機能の保全を図ります。また、市街地の背後に広がる山地・丘陵地については、良好な自然環境を保全するとともに、自然散策の場等として保全・活用を図ります。

## 2 交通体系に関する方針

JR 埴生駅から市街地及び埴生漁港へと連絡する南北方向の道路整備を図るとともに、適正な市街地形成を図るため、市街地の骨格となる道路の整備促進を図ります。特に、建物が密集する埴生漁港周辺の市街地においては、防災上の安全性を重視しつつ、道路空間の確保に努めます。

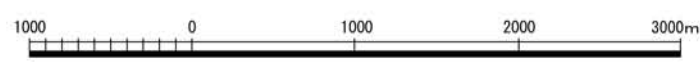
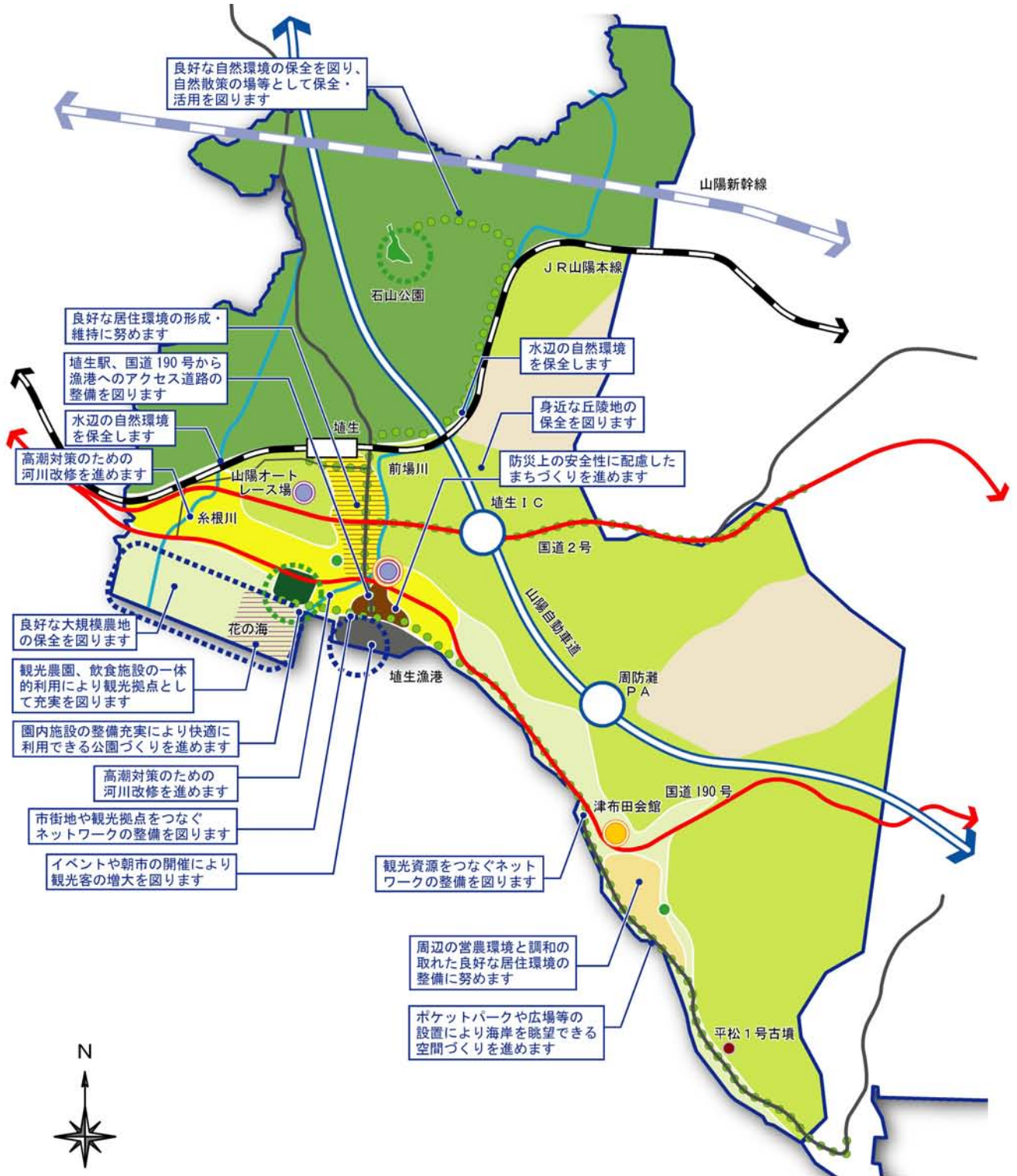
また、市街地内の主要な移動経路における歩道の設置を進めるとともに、海岸沿いの公園や観光施設を回遊する自転車・歩行者空間の整備を図ります。

## 3 都市環境に関する方針

郡・津布田海岸の連続性を活かした水辺のネットワークの形成により、分散する市街地や観光資源を水辺がつなぐ都市構造を創出します。この水辺のネットワークについては、道路沿道におけるポケットパーク・広場の設置等により、海岸を眺望できる空間づくりを進めるとともに、防災面、環境面で必要となる対策も考慮しながら、美しい海岸景観の保全・整備を目指します。また、朝市やイベントの開催、グルメロードとしての環境整備により、交流促進を図ります。

糸根地区公園では、老朽化した施設の再整備など園内施設の整備充実に努め、地域住民がより快適に利用できる公園づくりを進めます。その他の既存の公園についても、より多くの人々に利用されるよう、利用者のニーズに対応した利用方法や施設の整備充実に努めます。

図 埴生地域のまちづくり方針図



【凡例】			
一般住宅地	その他施設用地	拠点となる緑	鉄道（新幹線）
専用住宅地	農地	近隣公園	鉄道
農村集落地	山地	街区公園	高速自動車道路
漁村集落地	丘陵地	歴史資源（文化財）	主要幹線道路
複合業務市街地	河川	地域コミュニティ拠点	幹線道路
商業集積地	ゴルフ場	その他主要な施設	補助幹線道路
臨海工業地	公園（地区公園以上）		歩行者ネットワーク
内陸工業地	都市緑地		

## (5) 地域間連携の方針

### 1 地域特性に応じた都市機能の配置

小野田地域、高千帆地域、厚狭地域、埴生地域それぞれの地域で快適で便利な生活を送ることができるよう、地域の特性やまちづくりの方向性を踏まえながら、適切な都市機能の配置を図ります。さらに、都市核・地域交流拠点を中心に都市機能がコンパクトに配置され、分散する各地域が相互に連携・補完できるような都市構造の構築を目指します。

### 2 地域間交流を促す拠点とネットワークの整備

各地域における交流・レクリエーション系拠点の整備・充実により、地域間交流の機会の増大を図ります。さらに、緑や水辺の連続性を活かして、4つの地域間、そして分散する拠点間をつなぐネットワークの整備を図ります。

### 3 地域間を連携する「地域連携軸」の強化

一体の都市としての発展を目指して、地域間の連携強化を図るため、「地域連携軸」を担う国道2号、国道190号、県道小野田山陽線、小野田湾岸線、JR山陽本線、JR小野田線の整備・充実に努めます。また、鉄道関連施設の改善や公共交通不便地区への対応なども検討しながら、自家用車を使わない人も便利に生活できる社会の構築を目指します。

図 地域間連携方針図

